

(別紙2様式)

企 画 提 案 書

申請者名

印

1 企業の経営理念

2 事業計画の具体的な内容

- (1) 申請者の業態
- (2) 具体的な取組
- (3) 既往の施設、品質管理の状況、製品の販路等
- (4) 原木素材の材長別の希望数量

公募番号	材長 (m)	希望数量	備 考

(注) ①材長別の希望数量は、公募番号毎に希望する材長毎の割合を記載して下さい。

②材長別の希望数量は、買受希望の概数を把握するためのものであり、必ずしも希望どおりの材長割合の販売量を確認するものではありません。

- (5) 将来に向けての施設整備計画や方針、原木の利用拡大等

3 買受希望物件及び購入希望価格

別紙2-1のとおり

購入希望単価記入方法

- 公告物件の「2・3・4 m ラミナ・合板用材」については、
スギ4 m 18 cm上の購入希望単価を記入。
ヒノキ4 m 14 cm上の購入希望単価を記入。
(ヒノキの物件が内場合は記入不要)

- 公告物件の「3・4・6 m 小径木含む一般材」については、
スギ4 m 18～22 cm「直材」の購入希望単価を記入。
ヒノキ3 m 14～16 cm「直材」の購入希望単価を記入。
(ヒノキの物件が内場合は記入不要)

- 公告物件の「N低質材」については、
スギ、ヒノキ込みの購入希望単価を記入。

※記入された購入希望単価は、システム材販売単価検討時の最低単価とします。

※購入希望単価は、各土場引き取り価格（消費税抜き）を記入すること。

※購入希望単価の算出根拠として、最終製品単価・製品の規格（土台・合板用等）・流通加工コスト（土場から運送し、最終製品に至るまでのコスト）を記入。

(別紙2-2様式)

流通・加工コスト調査票

この調査票は、ご提案される買取希望価格の透明性を確保するため、今回買取を希望される原木を使って生産される製品のうち最も代表的な製品（アイテム）について、今回協定期間中に想定されている製品の価格から、各種コストや製品歩留まりを勘案して原木の購入希望価格の妥当性を説明するための資料です。

この資料に記載されているデータ等は、協定締結後には基本的に公表する予定ですが、特に支障がある場合には別途申し出て下さい。

この調査票では書ききれない場合や十分な説明が出来ない場合には、適宜欄を追加したり、別添資料を添付する等の方法により作成願います。

1. 製材工場（傘下工場）名 _____

2. 主製材品（加工品名） _____

3. 計算で想定している原木の規格 樹種名 スギ 長級4m 経級 18cm～22cm

※原木の規格は、購入希望物件記入表の購入希望単価に連動する規格とする。（例：公告物件の「3・4・6m 小径木含む一般材」については、スギ4m18cm～22cm直材）

製材品(加工品)		備 考	
製品(アイテム)			
想定製品価格	円/m3		
販売店着価格	円/m3		
販売先等までの運賃等	円/m3		
出荷価格(a+b)	円/m3		
原木購入費(b)=(c)+(d)	円/m3		
原木価格(製材換算)(c)	円/m3		
市場買取価格	円/m3	本協定の購入希望価格としてください。	
製材歩留まり	%		
原木搬入運賃(d)	円/m3		
加工費(a)	円/m3	目標とする加工コスト	円/m3
内訳	バーカーコスト	円/m3	
	製材コスト※	円/m3	
	乾燥コスト※	円/m3	
	モルダーコスト※	円/m3	
	仕分・管理費等の間接費	円/m3	

※ 製材歩留まり、製材コスト欄には、合板工場の場合は「製材」を「加工」に、チップ工場の場合は同じく「チップ加工」に読み替えて記入願います。また、チップ工場の場合は乾燥、モルダーコスト欄の記入は不要です。

(別紙2-2様式)

記入例

流通・加工コスト調査票

この調査票は、ご提案される買取希望価格の透明性を確保するため、今回買取を希望される原木を使って生産される製品のうち最も代表的な製品（アイテム）について、今回協定期間中に想定されている製品の価格から、各種コストや製品歩留まりを勘案して原木の購入希望価格の妥当性を説明するための資料です。

この資料に記載されているデータ等は、協定締結後には基本的に公表する予定ですが、特に支障がある場合には別途申し出て下さい。

この調査票では書ききれない場合や十分な説明が出来ない場合には、適宜欄を追加したり、別添資料を添付する等の方法により作成願います。

1. 製材工場（傘下工場）名 _____

※原木の規格は、購入希望物件記入表の購入希望単価に連動する規格とする。

製材品(加工品)		備考
製品(アイテム)		最も取扱数量が多い代表的なもの
想定製品価格	円/m3	協定期間中に想定している製品の市場価格
販売店着価格	円/m3	
販売先等までの運賃等	円/m3	主な販売先の所在地
出荷価格(a+b)	円/m3	
原木購入費(b)=(c)+(d)	円/m3	
原木価格(製材換算)(c)	円/m3	(市場買取価格)÷(製材歩留まり)
市場買取価格	円/m3	本協定の購入希望価格としてください。
製材歩留まり※	%	丸太から製品まで加工する総計のもの
原木搬入運賃(d)	円/m3	工場までの運賃
加工費(a)	円/m3	目標とする加工コスト 円/m3
内訳	バーカーコスト	円/m3
	製材コスト※	円/m3
	乾燥コスト※	円/m3
	モルダーコスト※	円/m3
	仕分・管理費等の間接費	円/m3

※ 製材歩留まり、製材コスト欄には、合板工場の場合は「製材」を「加工」に、チップ工場の場合は同じく「チップ加工」に読み替えて記入願います。また、チップ工場の場合は乾燥、モルダーコスト欄の記入は不要です。

(別紙2-3様式)

システム購入材利用計画書

土場

--

--



加工場（傘下工場）

--

--

--



販売先

--

--

--

- ※購入希望物件土場毎に作成。なお、各土場、搬入製材工場が同じ場合は合計購入数量で作成。
- ※本様式は、小径木含む一般材、ラミナ・合板用、チップ材等の利用計画について、具体的に作成すること。
- ※傘下工場については、全て記入することとなります。

システム購入材利用計画書

土場

〇〇土場		
購入数量	m3	
(スギ	m3、ヒノキ	m3)

〇〇土場		
購入数量	m3	
(スギ	m3、ヒノキ	m3)



加工場（傘下工場）

〇〇製材工場	
・対象樹種	
スギ	m3
ヒノキ	m3
・加工品名	
柱、間柱、板等	

〇〇製材工場	
・対象樹種	
スギ	m3
ヒノキ	m3
・加工品名	
柱、間柱、板等	

〇〇製材工場	
・対象樹種	
スギ	m3
ヒノキ	m3
・加工品名	
柱、間柱、板等	



販売先

・柱
〇〇ハウスメーカー
・間柱
〇〇ハウスメーカー

・柱
〇〇ハウスメーカー
・間柱
〇〇ハウスメーカー

・柱
〇〇ハウスメーカー
・間柱
〇〇ハウスメーカー

※購入希望物件土場毎に作成。なお、各土場、搬入製材工場が同じ場合は合計購入数量で作成。

※本様式は、小径木含む一般材、ラミナ・合板用、チップ材等の利用計画について、具体的に作成すること。

※傘下工場については、全て記入することとなります。